

船橋市立医療センターNews No.42

●発行年月日/令和元年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「袋田の滝（茨城県）」当院職員撮影



実りの秋となりましたが

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣

9月上旬に千葉県に上陸した台風15号は強烈な暴風雨で、夜中に怖い思いをされた方や翌日の交通機関の麻痺に困った方も多いと思います。船橋市内でも救急車の出動件数も多く、停電して診療機能が低下した病院もあったようです。千葉県内の広域で停電・断水が長期間に及び、機能停止状態になった医療機関から入院患者を他院に搬送するために当院からもDMAT(災害医療支援チーム)を派遣いたしました。被害に遭われた方々の一日も早い原状回復を願うばかりです。地震のみならず様々な災害に対応できるよう普段から備えることの重要性を改めて感じます。

さて近年、糖尿病や動脈硬化症の患者さんが増加し、その重篤な合併症として足が壊疽となり下肢切断を余儀なくされる方も少なくありません。当院は高度医療を提供する病院として、多職種でこれらの患者さんに迅速に対応し適切な治療とケアを行う『フットケアチーム』を立ち上げました。この地域では初めての取り組みになります。該当すると思われる患者さんは、かかりつけ医を通して当院を受診していただければと思います。

また、当院は高度な急性期医療を提供するために現在2台のMR装置がフル稼働していますが、そのうち1台を本年8月にバージョンアップしました。放射線診断を充実することにより、正確な診断による適切な治療を行って、皆様の期待に応えられるよう努力してまいります。

目次

特集 当院における放射線診断について……………	2～3	救命救急センター 24時/次回の公開医療講座/	
日本看護協会会長表彰/防災訓練……………	4	心臓病教室/職員募集……………	7
フットケアチームが発足!/研修医のつばやき……………	5	外来担当医師一覧表……………	8
医療を学ぼう! in 図書館/公開医療講座……………	6		

当院における 放射線診断について

MR装置が新しくなりました

放射線技術科副技師長 桜井 章二

当院のMR装置は1991年に東芝製MR 1.5Tを導入し、2000年にGE製MR 1.5Tに機器更新しました。2007年からは2台体制となり、GE製MRを増設、既存の装置のソフトウェアをバージョンアップしました。今回、2000年に導入した装置を既存の磁石だけ残し、それ以外を一新するニューグレードによる機器更新を行いました。ニューグレードは住宅に例えるとリノベーションと思ってもらえると分かりやすいかと思います。ニューグ



レードの利点としては、通常の装置の入れ替えでは2,3ヶ月かかるところが1ヶ月以内（実際には4週間）に行えますので、検査を止める期間が短くなるため検査待ちを短くすることができました。

MR検査の特徴としては、組織コントラストが高く、X線CTや超音波検査では得られない画像が得られるということ、任意の断面で撮像できること、X線を用いないため被ばくがないということが挙げられます。また、MR検査では、T1強調画像、T2強調画像、血流を強調したMRA画像、水成分を強調したMRCPなどのHydrography、急性期脳梗塞や腫瘍の判別などができる拡散強調画像、心臓の動きをみるシネ撮像など様々な撮像方法があり、検査目的に応じた幅広い撮像を行うことが可能となっています。しかし、装置自体が巨大な磁石であるため基本的に、検査室内に金属を持ち込むこ

とはできません。検査内容によりますが検査時間が10分から1時間と長く、数ミリ単位の画像を撮像しているため、患者さんは検査中動くことができません。また、撮像の時に大きな音を発生します。

今回の更新では特定の撮像ではありますが、動きに強い撮像が全身で出来るようになりました。また、大きな音を抑えた撮像も可能になり、寝かせて検査を行う小児の検査に役立つことが期待されます。



撮影中の様子

画像診断のプロフェッショナル ～放射線診断医とは～

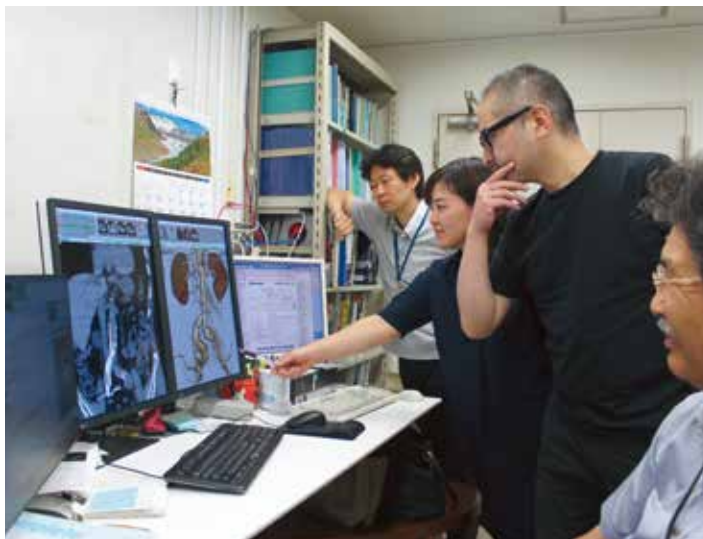
放射線診断科部長 中條 秀信



当院では医師のオーダーによりレントゲンをはじめとして毎日多くの画像検査が実施されています。できあがった画像は患者さんの主治医が見て診断をしますが、それだけではありません。放射線診断医が読影をして主治医に診断結果・内容を伝えています。なお、放射線科医は大きく診断医と治療医に分けられま

すが、今回は画像診断を業務とする放射線診断医のお話をします。放射線診断医は読影室でたくさんのモニタに囲まれながら、主にレントゲン・CT・MRI・核医学検査の読影をしています。読影という耳慣れない言葉は手元の辞書によると“X線の写真を見て診断すること”となっています。その定義通りに放射線診断医は1枚から時に数千枚の写真に目を通して診断をし、結果を画像診断報告書として患者さんの主治医に報告します。画像診断報告書には病気の有無・良性悪性の鑑別・ひろがり、(必要あれば)推奨する追加検査、といった内容を記載しています。主治医は自分自身による読影に加えて放射線診断医の画像診断報告書を参考にして患者さんの診療を行います。

昨年、放射線科医および画像診断報告書が目目される報道がありました。他施設において主治医が画像診断報告書を確認しなかったため診断の遅れが発生してしまったのです。当院では主治医が画像診断報告書を見逃さないように、主治医に画像診断報告書を読むことを促すシステムが稼働しています。また、放射線診断医は緊急性を要する病気を見つけた場合など必要に応じて直接主治医に連絡しています。このように、放射線診断医は患者さんを直接診察していませんが、読影によって医師を支援する医師(英語でDoctor's doctorと言います)として診療に関わり、患者さんに信頼される医療を目指しています。



伊藤淳子副院長兼看護局長が 日本看護協会長表彰を受賞しました

令和元年6月6日、函館で開催されました日本看護協会総会において、日本看護協会長表彰をいただきました。看護協会は、私が看護師になった当時から想像もつかないくらい活動の幅も内容も年々発展しています。活動の一つとして、看護師がその力を十分に発揮できるように働く環境を整え、看護を必要としている人達に良い看護を提供できる自律した看護師育成があります。私は平成28年度より千葉県看護協会の理事としてその活動の一端を担わせていただいています。患者・地域のみなさんが安心して生活していただけるよう当院はもとより、地域の看護職と連携を図り看護の質向上に努めていきたいと思ひます。



8/25 防災訓練を実施しました

今年も災害拠点病院として更なる機能強化を図るため、平日の午前9時、市内で震度6強の地震が発生したという想定で訓練を実施しました。主な訓練内容は、災害対策本部の設置訓練、各部署からの被害状況報告訓練、トリアージセンター開設及びトリアージ訓練、患者受入訓練です。

訓練では、災害現場や災害医療協力病院から搬送された傷病者を多数受け入れ、トリアージセンターで重症度に応じた傷病者の振り分け、迅速な処置と院内搬送を行いました。今年はトリアージ後の動きを更に充実させるため、昨年度行ったX線撮影、血液検査、薬剤処方に加え、医事請求など連携確認も行いました。さらに災害対策本部では、災害時に起こる様々な問題に対してどう対応するかを考える図上訓練を行いました。

今年の訓練は、病院職員や看護専門学校生など約180名が参加しました。訓練を通じて災害時の医療体制の確認を行い、今後も有事に備えていきます。



災害対策本部での図上訓練



様々な状況を想定したトリアージ訓練



医事課職員による患者帰宅前の請求確認

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。



フットケアチームが発足!



循環器内科副部長 岩田 曜

糖尿病や下肢の動脈硬化症を背景に、足に潰瘍（かいよう）や壊疽（えそ）ができた患者さんを下肢切断から守るため、整形外科・形成外科・代謝内科・循環器内科の医師と慢性疾患看護専門看護師、皮膚排泄ケア認定看護師からなるフットケアチームが結成されました。従来よりもスピーディな連絡法を採用し、切断に瀕した足を発見してから48時間

以内に治療方針を決定します。下肢動脈のカテーテル治療や皮膚移植術といった特殊な治療と、糖尿病管理に代表される普遍的な治療を組み合わせ、下肢切断の回避や切断範囲を縮小できる患者さんが増えることが期待されます。またフットケアチームではそれぞれの患者さんの事情に合わせて退院後の生活や通院、自己管理がスムーズに効果的に行えるようなサービスへの連携もお手伝いします。退院後も傷のケアが必要な患者さんは新設されるフットケア外来で処置や指導を継続します。一人でも多くの患者さんを下肢切断から守るため、力を合わせて頑張ります!

研修医の つぶやき



初期臨床研修医1年 新保 ゆうき

新しい環境で働き始めてあっという間に4か月が経ちました。働き始めた当初は右も左もわからない状況でしたが、4か月が経った今、少しずつ環境にも慣れ始め、先輩医師の指導のもと日々医療に励んでおります。

7月から初期臨床研修医1年目の救急科当直が始まりました。自ら患者さんの診察や検査を行い、治療方針を考え、先輩医師から改善点をフィードバックしていただくことで、自分に足りていないことを自覚し、そこから多くのことを学ばせていただいております。自分自身で患者さんを診察できるようになり、患者さんの求めていることを把握することが最も大切なことであり、最も難しいことであると痛感いたしました。学生時代は医学知識を身に着けることに勤しんでいましたが、実際の医療現場では、知識はもちろんのこと、患者さんに対する姿勢や思いやりがより大切であることを実感

いたしました。患者さんが安心して診察を受け、患者さんの求める医療を提供できるような医師になりたいと改めて強く思いました。

まだまだ未熟ではありますが、患者さんに寄り添う医療の実現に向け、日々精進してまいりますので、今後とも初期臨床研修医をよろしくお願いいたします。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

医療を学ぼう！ in 図書館

船橋市西図書館（毎月医療講演会と相談会を開催）

ぜひご参加ください！

○最近の講演会の様子

第34回 7月 「チームで支える膀胱がん」 泌尿器科副部長 武田 英男

医師からは治療について、認定看護師からは手術後の生活やストマ外来についての話があり、大変好評でした。

第35回 8月 「たかがコレステロール されどコレステロール」 循環器内科部長 福澤 茂

食生活や生活習慣など具体的な内容の話があり、コレステロールについての理解を深めようと皆さん熱心に聞いていました。

第36回 9月 「白内障の治療について」 眼科部長 小林 晋二

白内障の治療や手術療法など、当院で行われている白内障治療について詳しく話がありました。



○今後の医療講演会予定 14:00～15:00 要申し込み 先着50名

日程	演題	演者
10月19日(土)	やさしい乳がんのはなし～検診から最新治療まで～	乳腺外科部長 松崎 弘志
11月21日(木)	鼠けいヘルニアのはなし	外科副部長 佐藤 やよい
12月7日(土)	腎臓病のはなし	腎臓内科・リウマチ・膠原病内科部長 清水 英樹

講演会、相談会申し込み先：西図書館 船橋市西船1-20-50 TEL 047-431-4385

毎月1日 9:30より受付（12月分は11月1日より受付）

船橋市中央図書館

11月29日(金) 14:00～15:30 要申し込み 先着50名

「認知症について」 精神科部長 宇田川 雅彦

場所：中央図書館 申し込み先：中央図書館 TEL 047-460-1311 11月1日(金) 9:30より受付

船橋市北図書館

12月5日(木) 14:00～15:30 要申し込み 先着50名

「早期胃がんと早期大腸がんの内視鏡治療」 消化器内科副部長 安藤 健

場所：二和公民館(北図書館併設) 申し込み先：北図書館 TEL 047-448-4899 11月1日(金)9:30より受付

※予定は変更する場合がありますので、広報ふなばしや図書館HP等でご確認ください。

患者支援センター 宇美 由美

第39回 公開医療講座



「大腸がんの外科治療」を開催しました



7月11日(木)に市民文化創造館(きららホール)にて、宮崎彰成外科副部長を演者とした公開医療講座を開催しました。今回の講演では、大腸がんの基礎知識や様々な治療方法について、実際の写真や動画を用いてわかりやすく解説を行いました。

宮崎外科副部長は、「大腸がんの治療方針はステージ(がんの進行度)によって異なりますが、内視鏡治療や手術が一般的であり、現在は腹腔鏡手術やロボット手術など身体への負担が少ない方法が普及してきています。

まずは大腸がん検診を受けること、また、大腸がんが診断された場合は不安や悩みを一人で抱え込まず、治療方針について医師に相談することが非常に大切です。」と語りました。

病院ボランティア(患者さんの案内や図書の整理など)を募集しています。詳しくは、医事課まで

救命救急センター24時 ―アナフィラキシーは知ることが第一歩です!―

アナフィラキシーとは全身性の強いアレルギーのことです。体には細菌やウイルスから身を守るために「免疫」という防御システムがありますが、それが食べ物や花粉、蜂毒などに過剰に反応し、マイナスの反応を起こすことをアレルギーと言います。体に「アレルゲン」が侵入すると、IgE（アイジーイー）抗体を介してヒスタミンという物質が分泌されます。

ヒスタミンにより**皮膚・粘膜**ではじんましんやかゆみ、くちびるやまぶたが腫れたりします。**呼吸器系**では息が苦しくなり、喘息のような症状が起きます。**消化器系**では腹痛や嘔吐・下痢などを起こします。**循環器系**では血圧が下がったり脈が速くなったり、ひどくなると倒れてしまったりします。小麦や蜂毒の他に、普段飲んでいる薬がアレルゲンになる場合もあります。アレルゲンと接触後に、上記2項目以上の症状が起きるとアナフィラキシーが疑われます。循環器系の症状が強

いとショックになる場合があります。逆にどんなにかゆみが強くてもかゆいだけではアナフィラキシーとは言いません。

アナフィラキシーが起こったときは身体を横にして衣服を緩め、すぐに救急車を呼んでください。症状はどんどん進む場合もありますので、エピペンという注射を処方されている方はためらうことなくすぐに使用してください。アナフィラキシーは原因を知り、それを避けることで予防することができます。特にお子さんの場合は周りの十分な注意が必要です。

あなたの知識と勇気で「いのち」を救えます。

救命救急センター長 角地 祐之



公開医療講座 次回のお知らせ

第40回 糖尿病患者さんが“いつまでも 元気に自分の足で歩く”ために ～患者さんやご家族ができるフットケア～

日時 10月10日（木） 14:30～15:30

講師 曾根 晶子（慢性疾患看護専門看護師）

会場 市民文化創造館（きららホール）

参加費 無料

定員 当日先着190人

問い合わせ 医事課

ぜひご参加
ください

心臓病教室のお知らせ

日程	演 題
10/17 （木）	①心筋梗塞予防について ②やってみよう！自宅のできる簡単な運動
11/21 （木）	①足の動脈硬化のお話 ②高血圧と薬 ポリファーマシーについて
12/19 （木）	①不整脈について ②実は危ない！こんな症状 ～知っておこう体のサインと受診のタイミング～

時 間 13:30～14:30（受付13:00～）

会 場 D館3階講義室 参加費 無料

講 師 当院スタッフ（医師、看護師ほか）

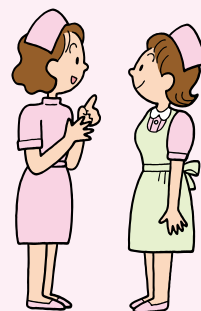
問い合わせ 医事課

令和元年度 募集概要

看護補助者(パート)・クラーク(パート)募集

●資格／特になし ●時給／1,060円（看護補助者）、980円（クラーク）

※詳細は当院ホームページ（<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>）をご覧ください。



外 来 担 当 医 師 一 覧 表

令和元年10月1日現在

			月	火	水	木	金	備考
内科	新患	患	山田 奈々	多部田弘士	下山 立志	稲垣雅行/福澤 茂	白石結佳/葉山奈美	新患の(木)は
	呼吸器		白石 結佳 黒木 嗣子	天野 寛之 中村 純	葉山 奈美 藤田 哲雄	中村 祐之 中村 純	藤田 哲雄 天野 寛之	第1・3・5稲垣、第2・4福澤
	消化器		東郷 聖子 石井清文/関 厚佳	関 厚佳 安藤 健/笠松伸吾 古賀 邦林	安藤 健 小林照宗/東郷聖子 藤井 渚夕	水本 英明 古賀 邦林 石井 清文	小林 照宗 藤井 渚夕 笠松 伸吾	新患の(金)は 第1・3・5白石、第2・4葉山
	代腫瘍	謝	岩岡 秀明	下山 立志	栗田 健市	下山 立志	岩岡 秀明	消化器の(月)は 第1・3・5石井、第2・4関
	腎 リウマチ・膠原病		清水 英樹/ 窪田沙也花※3	腎臓内科 午後1:30～ 清水 英樹	平野 聡	平野 聡	清水 英樹	消火器の(火)は 第1・3・5安藤、第2・4笠松
心臓血管センター	循環器科	予約	稲垣 雅行 内山 貴史	降旗修太/黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稲垣雅行/内山貴史	黒岩 信行 丘 慎清	福澤 茂 石脇 光	消化器の(水)は 第1・3・5小林、第2・4東郷
	新患		沖野晋一/石脇 光	丘 慎清	内山貴史/芝山納恵瑠	降旗 修太	岩田 曜/黒岩信行	腎臓、リウマチ・膠原病は完全予約制 ※3 午前はリウマチ・膠原病のみ で第1・3・5窪田、第2・4清水 午後は腎臓、リウマチ・膠原病で清水
	心臓血管外科		〔手術日〕	高原善治/茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	第1・3・5稲垣、第2・4内山 (月) 沖野/石脇、(火) 降旗/黒岩、 (水) 内山/芝山、(金) 岩田/黒岩は隔週
緩和ケア内科				武田 英男	〔交替医〕	〔交替医〕		午後1:30～ (火) 第2高原 第1・3・4・5茂木
精神科	新患			宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		午前9:00～ 予約患者のみ
	再来		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	榎原 雅代		新患は事前予約が必要(電話も可)
小児科			伊賀 裕子 今泉 孝章	佐藤 純一 河内 遼	丹羽 淳子 〔交替医〕	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	新患(消化器・一般)		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
	消化器・一般		吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 貝沼 修	澤田 尚人	(水) 丸山 午前のみ (水) 吉原 午後のみ
	乳 腺		青柳 智義 南村 真紀	吉原ちさと 松崎 弘志	青柳 智義 玉貫 圭甲 吉原ちさと		松崎 弘志 南村 真紀 玉貫 圭甲	
整形外科			〔交替医〕 渡慶次壮一郎 〔手術日〕	池之上純男 高瀬 完 榎本 隆宏	三村 雅也 鮫田 寛明 染谷 幸男	〔交替医〕 山本景一郎 橋本 瑛子 〔手術日〕	〔交替医〕 久保田憲司 〔手術日〕	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可) (木) 橋本は第1のみ
形成外科			〔手術日〕	内田 龍志 小曽根琢真	内田 龍志 小曽根琢真	〔手術日〕	内田 龍志 小曽根琢真	(金) 内田 (午後)は乳房再建外来
脳神経外科			内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	〔交替医〕 〔手術日〕	畑山 和己 森脇 拓也 内藤 博道	安間 芳秀 〔交替医〕 〔手術日〕	根本 文夫 田坂 研太 畑山 和己	(月) 根本、(水) 内藤 (金) 畑山は新患患者のみ (木) 安間は第1のみ
脳神経内科				鶴岡 淳		宗像 紳		(木)第2・4 午後1:30～ 予約患者のみ
呼吸器外科			一ノ瀬修二 荒牧 直	一ノ瀬修二 荒牧 直	〔手術日〕	一ノ瀬修二 木下 孔明 荒牧 直	〔手術日〕	(火)は再診のみ
皮膚科			井関 梢 奥山智香子	井関 梢 宮川 健彦	井関 梢 奥山智香子	井関 梢 宮川 健彦	亀田 瑛佑 奥山智香子	皮膚科は予約患者のみ (紹介状ありは可)
泌尿器科			武田 英男 〔交替医〕	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 〔交替医〕	佐藤 信夫 金 尚志	佐藤 信夫 木下 涼	
産婦人科			齊藤 俊雄 名古ゆり恵	大村 涼子 森 麻子 〔手術日〕	齊藤 俊雄 名古ゆり恵 〔手術日〕	佐々木直樹 〔交替医〕	佐々木直樹 森 麻子 〔手術日〕	
眼 科			小林 悠里 武石真里恵	松枝 美文 〔手術日〕	上原 七生 松枝 美文	武石真里恵 小林 晋二	小林 悠里 小林 晋二	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科			小林 皇一 大熊 雄介	〔交替医〕 〔手術日〕	小林 皇一 大熊 雄介	〔手術日〕	宮田 卓 小林 皇一	
放射線治療科			有賀 隆	有賀 隆 仁	金澤 亜希 荒木 仁	小池 直義 荒木 仁	有賀 隆	完全予約制
麻 酔 科			〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:00～11:00 予約患者のみ
歯科口腔外科			喜田晶洋※1/村野彰行※2	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	※1は午前、※2は午後
特殊外来	女性専用(内科)				古池 織恵			予約患者のみ(電話も可)
	脳神経内科(内科)				戸出のぞみ			午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)			櫻井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来				〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 河内 遼/竹本直輝	村社 歩美	佐藤 純一				午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)		高梨潤一(月1回)			牧野道子(月1回)/ 内山 薫(月2回)		午後 予約患者のみ
	小児腎臓(小児)					三浦健一郎(月1回)		午後 予約患者のみ
	小児アレルギー(小児)						下条直樹/薄井 香	月2回 午前9:00～予約患者のみ
	小児外科(外科)					小松 秀吾		午前のみ(午後手術)
遺伝カウンセリング							青柳 智義	午後1:00～4:00 予約患者のみ(電話も可)

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。